

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立木津川台小学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	木津川市立木津川台小学校第6学年（3学級 76名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）
4 目標 （ねらい）	パラスポーツを通して、スポーツのよさや障害のある人への理解を深め、共に生きていくために必要なことは何かを考えることができる。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックで行われている種目について調べ、その特徴や競技者について知る。 ・ボッチャについて調べ、その特徴や競技者について知る。 ・京都ボッチャ協会の方を講師に迎え、ボッチャ競技を実際に体験する。 ・体験したことの感想等を交流し、質疑応答をする。 ・児童それぞれで活動を振り返った後、ボッチャ競技の良さや面白さを他学年の児童に伝える。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がこれまであまり関わりのなかったボッチャという競技を、実際の体験を通して学ぶことができ、ボッチャに対しては勿論、パラスポーツ全体について興味・関心を高めることができた。 ・ボッチャ競技に対する興味・関心を生かし、他学年の児童に対してもその良さや面白さを伝えようという気持ちが高まった。
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	単なるお話を聞いたり、パラスポーツを体験するだけにとどまらないよう、事前に競技について調べたり、ボッチャの競技体験後に各学級で話し合いの場を設定し、「今後自分達にできることは何か」を個別やグループ単位で考えさせるようにした。
8 主な課題等	<p>この学習を通して学んだことをもとに、児童それぞれが何ができるのかについて考えることはできたが、その考えたことをいかに実践することができるかが大切になってくる。</p> <p>（例えば、自身の中で高まった興味・関心を自校の他学年の児童や家族にいかに伝え、その思いを共有できる人のつながりを広めることができるか等）</p>
9 来年度以降の実施予定	ボッチャ競技に対する興味・関心をさらに広げていくために一過性の取組にならないように気をつけながらも、もし可能であるならば、来年度も違う学年の児童に同様の体験をさせることができれば、と考える。

【取組の様子】(写真を添付)

